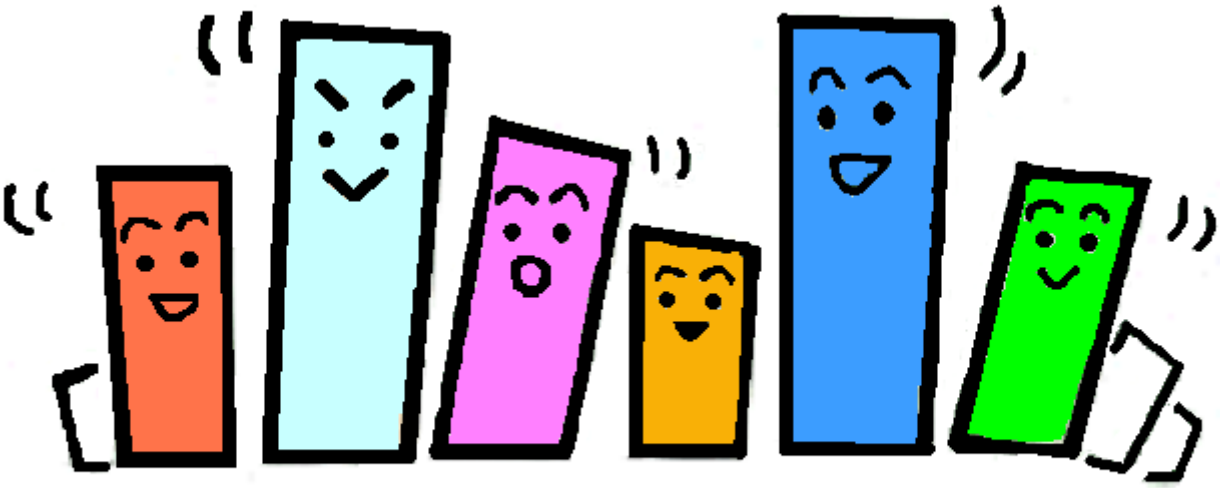
平成26年度

# 入間市生涯学習をすすめる市民の会

# 活動報告書

～活動２０年を迎えて～



入間市生涯学習をすすめる市民の会のホームページアドレスは以下

http://irumagakushu-home.seesaa.net/

目　　次

はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
２０年を祝う会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

１　活動目標と事業内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
２　各部会・担当の活動内容とまとめ
・ 企画・講座部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　４
・ 広報部会　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　６
・ 生涯学習を考えるグループ　・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
・ いるま生涯学習フェスティバル担当　・・・・・・・・・・・・　１０
３　付表　市民の会活動概要
・ １：市民の会各部会活動概要一覧　・・・・・・・・・・・・・　１２
・ ２：施策体系との対応一覧　・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
おわりに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１４

＜資料＞
・収支決算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５

**市民の会とは**

市民の生涯学習を推進する市民ボランティアであり、市民の生涯学習に関しての市民と行政とのパイプ役です。市の生涯学習推進計画に沿って、市とともに生涯学習の推進に取り組んでおり、生涯学習情報の収集・提供、生涯学習フェスティバル等の事業も企画・運営しています。

＜入間市生涯学習をすすめる市民の会 平成２６年度活動のまとめ＞

## は じ め に

平成２６年度における「入間市生涯学習をすすめる市民の会」の取組みは、市民と行政のパイプ役としての役割をより充実させるとともに、平成２２年度末に策定された「第３次入間市生涯学習推進計画」に基づき、生涯学習によるまちづくりをより推進すべく、行政と密接な連携を図りながら幅広い活動を展開いたしました。

また、本年度は、入間市・狭山市・所沢市等９市町と入間市生涯学習をすすめる市民の会・ＮＰＯ法人さやま生涯学習をすすめる市民の会・生涯学習をすすめる所沢市民会議との共催で９市町交流「生涯学習の事例発表＆講演会」～市民のまちづくり参加をすすめるには～を実施しました。これは、入間市・狭山市・所沢市の生涯学習をすすめる市民団体が、事例発表及び講演会を企画したものです。講演会だけでなく３市による事例発表を行ない、情報交換及び交流の場となるよう工夫いたしました。

本書は平成２６年度における活動をまとめたものですが、具体的な取組みやそのまとめ等については次頁以降のとおりです。

生涯学習をすすめる市民の会２０年を祝う会

実行委員長　室山茂子

　生涯学習をすすめる市民の会は、市民と市を繋げる中間支援ということで始まった。当時、市民と行政の協働は全国的にも先進的な事例で、仕組み作りにはお互いにとまどいがあったが、全国に向けて市民と行政の新しい協働の形を全国に発信できたと考えている。

　２年任期の公募制で、２０年間に８７名もの委員に関わっていただいた。時間の経過とともに委員の意見は変わっていったが、意見の共通点は「学びによるまちづくり」という一点だった。

　２０年を祝う会を開催したのは、うれしいことに、以前生涯学習をすすめる市民の会に関係した人たちから２０年を祝いたいという声が上がったからだった。生涯学習をすすめる市民の会元委員・現委員が実行委員会を組織し、今まで関わった方々３７名に集まっていただいた。当日は、会の活動を改めて振り返り、笑える話、うなずく話などで大いに盛り上がった。最後に、２０年生涯学習活動をつなげてきたことを確認、お互いに感謝をする素晴らしい祝う会となった。

＜日時・場所＞

１２月２０日（土）　午後６時～８時　　産業文化センター２階　集会室

＜被招待者＞

設立当初からの市民の会委員全員 80 数名

前市長　　現市長　　前教育長　　現教育長　　市民の会にかかわった職員

## １　活動目標と事業内容

### ＜企画・講座部会＞

＊活動目標・・・生涯学習に関する共通的な仕組みづくり（学びの体系化）
＊事業内容・・・市民講座「まちの先生講座」の試験的な開講
・・・公民館等との連携推進
・・・生涯学習を推進する事業の検討

### ＜広報部会＞

＊活動目標・・・生涯学習活動に関する情報発信と支援
・・・市民の会の活動のＰＲ
＊事業内容・・・「学びの場」の発行と内容の充実
・・・エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動
・・・生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進
・・・ホームページ及びブログによる活動内容のＰＲ
・・・情報紙「生涯楽習通信」の定期発行
・・・生涯学習フェスティバルにおける市民の会の展示物の作成

### ＜生涯学習を考えるグループ＞

＊活動目標・・・全国生涯学習まちづくり研究会代表　福留　強氏の講演会を企画
＊事業内容・・・彩の国生涯学習まちづくり市町村協議会連携事業における事例発表
・・・３市（所沢・狭山・入間）交流
・・・生涯学習先進地への視察研修

### ＜生涯学習フェスティバル担当＞

＊活動目標・・・フェスティバルの開催を通じた市民と行政の協働によるまちづくり
＊事業内容・・・フェスティバル運営等に関する主催団体としての方針の立案
・・・新たなフェスティバルとするための具体的提言・立案への取組み
・・・実行委員会参画とそれを通じた企画ほか運営に関する当会の意見反映

## ２　各部会・担当の活動内容とまとめ

**企画・講座部会**

**部会長：　関谷**

**部会委員：　須崎、多田、土屋、春名、室山、渡部**

＊活動目標

『生涯学習に関する共通的な仕組みづくり』

＊事業内容　◎市民講座「まちの先生講座」の試験的な開講（３年目）
◎公民館等との連携推進
◎生涯学習を推進する事業の検討

＊活動実績　○市民講座「まちの先生講座」の試験的な開講（事務局機能の整理）、企画型講座実施

１.「まちの先生講座」開催

「まちの先生リスト」登録者が講師となる連続講座「まちの先生講座」の試験的な実施、３年目。今年度は１７講座（以下）を開催し、延べ３５４名が受講した。

【実施概要】

参 加 者：３５４名（延べ）

実施講座：１７講座（講師１７名）※募集は２１講座。４講座は実施人数に満たなかったため開講せず。

実施コマ数：３コマ（７講座）、２コマ（５講座）、１コマ（５講座）

実施期間：１０月１日～１０月３１日
（１０時～、１３時～、１５時３０分～のいずれかの時間帯）

会　　場：市民活動センター、入間市博物館（青丘庵）、東町公民館、藤の台公民館、
東金子公民館、中央公民館

スタッフ：延べ３６名（平成２５年度：３８名）市民の会委員、事務局

【実施講座】（　）内はコマ数

・活断層を知ろう（１）
・「あなたの接し方大丈夫？」（２）
・茶道の世界シリーズ③（１）
・中高年から始めるらくらくピアノ（２）

・映画で学ぶ英会話（２）
・英語のルール、一気に覚えて表現力を磨きませんか（３）
・鉛筆デッサンと淡彩画（１）
・健康に役立つ薬の知識（２）
・はじめてのパソコン・初心者講座（３）
・スチレンペーパープレーン・紙飛行機クラブ（１）
・城の見方と歩き方（３）
・「はじめての油絵」教室（３）
・楽しい俳句（３）
・川柳は日本のうた！五･七･五で人生をよんでみよう（３）
・世界の歴史を検証し現在、未来の歴史を検討する（３）
・古文書初心者入門講座（２）
・初心者タブレット講座（１）

〇公民館等との連携推進

１．公民館職員との交流会の実施（３月５日）

「まちの先生講座」の実施報告を行った。「まちの先生リスト」のより有効な情報提供･情報更新のあり方について意見交換を行った。その上で「まちの先生リスト」の活用促進や各種事業の実施等について公民館とどのように連携が可能かについて意見交換を行った。

〇生涯学習を推進する事業の検討

１．学びの体系化についての検討（仕組みのあるべき形を描く）

２．フェスティバルにおけるまちの先生ＰＲの場の設置（３年目）

まちの先生の活用・活性化及び周知を目的として、２名のまちの先生による体験コーナーの実施及び４名の講師による展示を行った。

＊総　　括

２５年度に続き「まちの先生講座」を試行的に実施した。２６年度の重点事項は、継

続的な事務処理が可能な方法での実施とした。事務室機能のスリム＆スムーズ化や事務局･市民の会が担う業務を確認し、２７年度以降の講座開催についての課題及び重点事項を整理した。

２７年度も引き続き「生涯学習に関する共通的な仕組みづくり」を目指し、学びを地域に活かす講座の研究･開設と事務室機能の効率化、まちの先生リストの活用のための情報発信のあり方、まちの先生が事業に参画できる機会を提供していく。

広報部会

**部会長：　山増**

**部会委員：　多田・岡崎・春名・角屋・加藤・幸森**

＊活動目標

①　生涯学習活動に関する情報発信と支援

②　市民の会の活動のＰＲ

＊事業内容　◎「学びの場」の発行と内容の充実

◎エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動

◎生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進

◎ホームページ及びブログによる活動内容の PR

◎情報紙「生涯楽習通信」の定期発行

◎市民の会の展示物の作成

＊活動実績　○「学びの場」発行と内容の充実

１．分野別（文化活動・社会活動・体育活動）の表記をやわらかい表現にしてはどうかとの提案があったが、今年度中の変更には至らなかった。また、新規の情報もアンテナを張って収集をしている。また、「学びの場」ネット検索数（平成２４年度２，７８７件　平成２５年度　３，０８５件）は増えており、より検索しやすいように情報システム課と調整中である。また、今後メールでも登録できるよう検討していきたい。

○エフエム茶笛との連携による効果的な広報活動

１．今年も時報放送によるＰＲを行った。市民の会の名称と生涯学習フェスティバル開催の告知を約２０秒間、１１月８日～１２月７日（計３０日間）の１５：００の時報とともに放送した。

（初老の穏やかな男性の声）

「人生」は「学びつづける」こと。第 20 回いるま生涯学習フェスティバル

１２月７日（日曜日）９：４５より入間市産業文化センター周辺にて開催いたします。

あなたの学びを応援する「入間市生涯学習をすすめる市民の会」が 3 時をお知らせいたします。

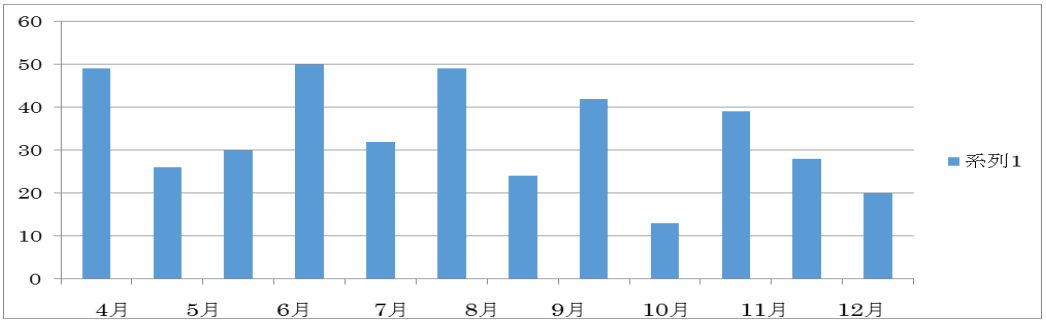
○生涯学習けいじばんによる生涯学習情報の発信及び利用促進

１．年度初めや秋の催し物に向けての時期、けいじばんはフル回転で利用されており、各団体の生涯学習情報の発信の支援につながっている。

市内にけいじばんは８基あるが、スポーツ関係者の目に触れるよう体育館敷地内に１基、また子育て中の方たちの目にも触れるよう児童センター敷地内に１基、計２基を増設した。

９基目　市民体育館

１０基目　児童センター（正面）




利用一覧表

○ホームページ及びブログによる活動内容のＰＲ

１．タイムリーに新しい情報を発信できなかった。情報発信にはホームページ等の内容が重要なので、その充実を図りたい。

○情報紙「生涯楽習通信」の定期発行

１．年２回の発行予定であったが、実際は１回の発行になった。第２０回生涯学習フェスティバル、市民の会２０年を祝う会、まちの先生講座、生涯学習の事例発表と講演会、春日部市生涯学習推進委員の視察、けいじばんの紹介と盛りだくさんの紙面になった。

○市民の会のＰＲ用展示物の作成

１.イルミン１０周年におけるまちサポ主催の市民活動団体ポスター展、市民ギャラリーでのポスター展に参加し、市民の会を紹介した。

＊総　括

今年度は部会もあまり開催できず、事業内容の充実は図れなかったが、「学びの場」発行、エフエム茶笛の時報放送で生涯学習フェスティバルのＰＲは継続して実施し効果を高めたい。

そして、生涯学習けいじばんを増設していることや、利用の仕方などをお知らせするよう努力していきたい。

ホームページやブログについては全員が操作できるまでに至らず、どうしても特定の人に頼らざる得ない状況があった。少しでも操作できる人を増やすために部内講座等を検討していきたい。

**生涯学習を考えるグループ**

**リーダー：　幸森**

**部会委員：　角屋、加藤、人見、室山**

＊活動目標　：生涯学習について今一度考えてみよう！

＊事業内容　◎全国生涯学習まちづくり研究会代表　福留　強氏の講演会を企画
◎生涯学習先進地の視察研修
※各事業とも実行委員会方式で実施する計画。

＊活動実績　○全国生涯学習まちづくり研究会代表　福留　強氏の講演会を企画

平成２７年１月２６日（月）、平成２６年度彩の国生涯学習まちづくり市町村協議会連携交流事業の一つとして「生涯学習の事例発表＆講演会」を開催した。１部の事例発表では、福留氏にコメンテーターをお願いし、所沢市の「生涯学習をすすめる所沢市民会議」と狭山市の「ＮＰＯ法人さやま生涯学習をすすめる市民の会」及び当会による３市の事例発表が行われた。次いで２部の福留氏の講演会は、「創年が元気。学ぶ楽しみ・活かす喜び」というタイトルで行われた。

また、場所を変えての３市の市民交流会には急遽福留氏も参加され、講演会では聞けない話なども聞け、皆満足した一日を過ごした。

○生涯学習先進地の視察研修

まちの先生と類似した「学習支援ボランティア」制度があり、また既に生涯学習推進プランを策定し、その後も区教育委員会と生涯学習プランの意見交換を行っていることなどから、台東区の生涯学習について視察を行った。視察地である台東区生涯学習センターは、図書館やホール、研修室、事務室などを有する複合施設となっており、社会教育施設部門の運営は指定管理者に委託されていた。施設の稼働率は６０％程度で約１００万人が利用しているとのことだった。

また、学習支援ボランティアについては、殆どが区主導により運営されており、生涯学習推進プラン策定にあたっても、応募した区民は若干名であり、行政主導の感があった。

期日：平成２７年３月６日（金）

場所：台東区生涯学習センター　　参加者：１２名（内事務局２名）

＊総　　括

今年度定めた活動目標は、「生涯学習について今一度考えてみよう！」であり、事業実施については、実行委員会方式で行うという方針を定めた。

講演会については、会長も加わった実行委員会で企画し、行われた。１部では、所沢市や狭山市の市民団体の活動内容を聞くことができ、市民レベルでの問題点や課題を共有できたと考えられる。２部の福留氏の講演では、生涯学習という観点から行うまちづくりの素晴らしさや感動を皆で共有できたと思う。これを機に、３市の市民の会で情報の共有や交流会を継続する方向も検討され、かなり有意義な事業であったと考える。

視察研修については、これまでにない大都市における生涯学習の推進方法を視察したが、市民が主体ではなく、行政が区民の手足となって手厚く見守っているような感がした。甲乙は付けられないが別な視点からの生涯学習推進策を学んだのではないかと思う。

市民の会発足から２０年目にあたる１年間が無事に終わったが、「生涯学習について今一度考えてみよう！」という目標への達成感は得られていないのが残念でならない。

**いるま生涯学習フェスティバル担当**

**リーダー：　岡野**

**部会委員：　岡崎・角谷・加藤・幸森・今野・須崎・関谷・多田・土屋・春名・人見・室山・山増・渡部**

**（フェスティバル実行委員長　山増、同副委員長　岡野）**

**＊活動目標**

『生涯学習フェスティバルの開催を通じた、市民と行政の協働によるまちづくり』

**＊事業内容**　◎市民の会委員全員が実行委員会委員として直接事業に関わる
◎主催団体として生涯学習フェスティバル全般について方針立案、提案の取り組み

**＊活動実績**　○市民の会委員全員が実行委員会委員として直接事業に関わる

１．主催者、参加団体両面での参画及び企画運営

実行委員会に参画し、実行委員長、副実行委員長のほか、各部会で中心的な役割を担った。また市民の会にて検討した内容を実行委員会に反映させた。

○主催団体として生涯学習フェスティバル全般について方針立案、提案の

取り組み

１．２０回という節目の開催に向けた企画、「生フェス前夜祭（祝２０年）」、「生涯学習フェスティバル２０年のあゆみ」、「生涯学習フェスティバルテーマソング」を提案実施した。

**＊事業概要**　「第２０回いるま生涯学習フェスティバル」

テーマ：「生きること ♡ 学ぶこと」

キャッチフレーズ：「学び、出会い、つながって２０年」

日　程：平成２６年１２月７日（日）９時４５分～15時４５分

主　催：市、市教育委員会、入間市生涯学習をすすめる市民の会、入間市振興公社

主　管：第２０回いるま生涯学習フェスティバル実行委員会

**＊総　　括**

当会の目指す「学びのサイクル（循環）」に沿った企画を新規事業に織り交ぜながら展開した。来場者からの評価も高く、良いフェスティバルとなった。

また今回は特に２０回を記念し、２０回各回の事業内容、２０年間の間にフェスティバルに関わった実行委員、協賛を頂いた団体・企業・個人の皆様を掲示し、２０年の歩みが感じられるものとなった。

「生涯学習フェスティバルテーマソング」は、歌詞募集要項を作成し公募によって歌詞を募った。選定後、実行委員会で曲を付け、フェスティバル当日に作詞者の表彰とテーマソングを披露し、フェスティバルを盛り上げた。

## ３．付表　市民の会活動概要

＜１：市民の会各部会活動概要一覧＞

| 部会 | 事業内容 | 活動内容（実績） | 次年度へ向けて |
|---|---|---|---|
| 企画講座 | 市民講座「まちの先生講座」の試験的な開講 | まちの先生を講師とした「まちの先生講座」を昨年に引き続き開催。１７講座、延べ３５４人が受講した。 | 運営面等の課題を改善しながら継続的な開催及び発展を目指す。 |
| | 公民館との連携推進 | まちの先生の活用を含め、情報交換会を行い、今後の足掛かりとなる意見交換をすることができた。 | まちの先生講座での公民館利用、その後の活用を目指す。 |
| | 生涯学習を推進する事業の検討 | 生涯学習フェスティバルでまちの先生のＰＲの場を設けた。 | まちづくりにつながる学びの仕組みの検討を継続して行う。 |
| 広報 | 「学びの場」の発行と内容の充実 | ５００部の発行と、情報の整理を行った。ホームページの改良については引き続き検討を行う。 | 活用しやすいよう改良するとともに、新規情報の開拓を行う。 |
| | エフエム茶笛による効果的な広報活動 | 昨年度までと広報形態を変更し、生涯学習フェスティバルのスポットＣＭを通し、当会のＰＲを行った。 | 効果的な広報形態を検討する。 |
| | 生涯学習けいじばんによる生涯学習情報発信及び利用促進 | 掲示板の定期的なメンテナンス及び増設についての検討を行った。 | 利用促進のための検討を引き続き行う。定期的なメンテナンスを行う。 |
| | ホームページ及びブログによる活動内容のＰＲ | 生涯学習けいじばん設置及び場所の紹介をホームページに掲載した。 | 情報更新とそのルールの整備を行う。 |
| | 情報紙「生涯楽習通信」の定期発行 | 掲示板の利用促進、まちの先生講座等、情報発信を行った。 | 効果的なＰＲ方法と設置場所についての検討を継続的に行う。 |
| | 生涯学習フェスティバルにおける市民の会コーナーの展示企画・作成 | 企画講座部会の主導により、まちの先生及びまちの先生講座のＰＲを行った。 | 事前に調整を行い、市民の会全委員で検討し計画的なブースの企画運営を行う。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 生涯学習を考えるＧ | 台東区への視察研修 | まちの先生と類似した「学習支援ボランティア」制度があり、また既に生涯学習推進プランを策定し、その後も区教育委員会と生涯学習プランの意見交換を行っている台東区の視察を行った。 | 平成２７年度から組織される「生涯学習に関する市民アンケート」ＰＴ、「生涯学習推進計画策定」ＰＴのなかで、研修成果を取り入れていきたい。 |
| フェスティバル | 実行委員会への参画と、それに通じた企画・運営に関する当会の意見反映 | 主催者、参加団体両面での参画及び企画運営を行った。 | 次年度以降も市民の会全体で取り組めるよう検討・協力を行う。 |

活動実績（成果）を第３次入間市生涯学習推進計画の施策体系（基本方針）に沿って整理すると次のようになる。

＜２：市民の会活動と市の生涯学習推進計画（第３次）施策体系との対応一覧＞

| 施策体系 | 市民の会活動内容 |
|---|---|
| １．まなぶ<br>～学びでひとづくり～ | ・まちの先生講座の開催 |
| | ・学びの場の発行 |
| | ・会の過去と現状と課題の整理及び今後の検討 |
| ２．つなぐ<br>～学びでつなぐネットワーク～ | ・第２０回生涯学習フェスティバルの開催 |
| | ・けいじばんの利用促進 |
| | ・「生涯楽習通信」の発行 |
| | ・他自治体の調査・視察 |
| ３．いかす<br>～学んだことを地域にいかす～ | ・まちの先生事業の整備 |
| | ・公民館との連携推進 |

## おわりに

平成２６年度における「入間市生涯学習をすすめる市民の会」の取組みは以上のとおりです。次年度以降に繋がる検討・事業の実施が行えたものと考えております。

「まちの先生講座」については、市民の会の考える第３次生涯学習推進計画の具体的な事業の一つとして、今後も改善しながら継続していきたいと考えています。また、他団体やまちの先生登録者と連携を図りつつ、より良い事業となるよう取り組んでまいります。

目標とした成果をあげることができなかった活動、十分な推進を図ることができなかった取組みについては次年度以降も継続して取り組んでいくとともに、活動を通じて浮き彫りになった新たな課題などについては次年度の活動に反映させてまいります。

本年度もまた多くの市民や多岐にわたる市民団体のみなさん、さらには関係する行政のみなさんから多大なご支援・ご協力を頂戴いたしました。ここに厚く御礼申上げますとともに、新年度も引続きよろしくお願い申し上げまして平成２６年度のまとめとさせていただきます。

＜資料＞

## 市民の会２０年を祝う会

委員長：　　室山
実行委員：　OB　　栗原良子　杉山若江　鈴木政昭　下間則武
　　現市民の会委員　　山増智子　岡野亘　室山茂子

[動機]
市民の会が 20 年目を迎えられたことは、委員になってくださった皆様を始め今まで実績を積んでくださった諸先輩があってからで、その皆様と共に２０年を祝うという提案がフェスティバル委員会からなされた。提案を検討し、招待者名簿を考え、お祝い会を独立したほうがよいということに決まった。

[実行委員会形式]
　現在市民の会希望者　　元市民の会委員

[招待対象者]
一回目からの市民の会委員を全員 80 数名
前市長　　現市長　　前教育長　　現教育長　　生涯学習にかかわった職員
・現在の市民の会希望者メンバー(3)　プラス　前市民の会(4)

[日時・場所]
12 月 20 日　　PM6:00~8:00
産業文化センター２階　集会室 1/2 待合室　　1/2 パーティ会場

[形式]
会費 3000 円　実行委員会で買いだしをし、食料をそろえる

[会場当日]
初代松永会長、2 代目大坪会長　現市長　前市長　現教育長　前教育長　一回目からの委員、生涯学習にかかわった市職員　現在かかわっている職員、など総勢 40 名が集まって盛大なお祝いのパーティとなった。
当時の思い出を語り合って和やかな雰囲気。食料を買いだしでそろえたのは好評だった

[会計]
実行委員で買いだしをした飲食代　＋　写真代　＝　残金 0 円

# 入間市生涯学習をすすめる市民の会委員

平成２７年３月３１日現在

| | |
|---|---|
| 岡崎（おかざき）　幸子（さちこ） | 多田（ただ）　外志（そとし） |
| 岡野（おかの）　亘（わたる） | 土屋（つちや）　修（おさむ） |
| 角屋（かくや）　裕子（ひろこ） | 春名（はるな）　恭一（きょういち） |
| 加藤（かとう）　勝子（かつこ） | 人見（ひとみ）　友章（ともあき） |
| 今野（こんの）　明（あきら） | 室山（むろやま）　茂子（しげこ） |
| 幸森（こうもり）　康夫（やすお） | 山増（やまます）　智子（ともこ） |
| 須崎（すさき）　隆司（たかし） | 渡部（わたなべ）　直也（なおや） |
| 関谷（せきや）　敦子（あつこ） | |

問い合わせ先
入間市生涯学習をすすめる市民の会事務局
（入間市教育委員会　生涯学習課　生涯学習推進担当）

〒　３５８－８５１１
入間市豊岡１－１６－１
℡　０４－２９６４－１１１１　内線４１２３・４１２４